

北海道帯広南商業高等学校ボランティア部あすなろ会“S”クラブ (SI 帯広)

茶話会に参加して

11月22日スポンサーをしている帯広南商業高等学校“S”クラブと茶話会を開きました。自己紹介をしながらどのような仕事に就きたいか、将来の夢などを聞かせていただきました。今回はゲストとして当クラブのメンバーでもある佐々木直美会員が仕事に対する向き合い方、そこから学んだ大切なことなど体験談を交えて話してくださいました。“S”クラブの学生も傾きながら真剣に聞き入っていました。その後、おやつタイムで和やかな雰囲気終了しました。



帯広大谷短期大学 ボランティアサークル 半熟たまごクラブ シグマ・ソサエティ (SI 帯広)

蘭華祭に参加して

11月12日 スポンサーをしている大谷短大の蘭華祭に行き参りました。シグマ・ソサエティの学生と担当の先生が出迎えてくださり、学校内を案内してくださいました。お茶席からも前もってお誘いがあったので、いっづく頂戴し、お昼には学生手作りのお弁当をいただきながらみなさんと懇談しました。毎年思うことですが、蘭華祭には多くの卒業生が参加している姿を見ると大学との絆が強いことを感じます。1月の合同例会のことをお伝えし帰ってまいりました。



北海道余市紅志高等学校“S”クラブ (SI余市)



北海道余市紅志高等学校“S”クラブ認証式 国際ソロプチミスト余市 1017年10月13日



10月13日、北海道余市紅志高等学校にて“S”クラブ認証式が厳粛な中、無事執り行われました。ボランティア局は一人暮らしの高齢者住宅の除雪や訪問、余市養護学校の行事に協力するなど積極的な活動を行っております。“S”クラブ会長の磯辺さんは「奉仕を通じ多くの事を学び、ボランティア精神を忘れず地域のために活動を続けたい」と話してくれました。



山形県立上山明新館高等学校 JRC “S”クラブ (SI かみのやま)

“S”クラブ表彰とキャリアサポート&茶話会 (2017. 10. 4)

山形県立上山市立明新館において「“S”クラブ表彰とキャリアサポート&茶話会」を開催いたしました。“S”クラブ表彰は、SI かみのやまの活動に協力して頂いた生徒全員を表彰しました。講師として上山市教育長をお招きし、生徒・教職員 50 名が参加しました。講演後グループトーク、アンケート記入。教育長の話は、生徒たちにとって身近な話ばかりで有意義だったと思いました。

教育長の講演聴き
将来の可能性学ぶ
上山明新館高生

国際ソロプチミストかみのやま(土田美子会長)は4日、上山市の上山明新館高(阿部孝校長)でキャリア・サポート活動「夢を拓く」の茶話会を行った。生徒たちが古山茂満上山市教育長の講演を聴き、将来の可能性について学んだ。写真。同校JRC(青少年赤十字)委員会所属の生徒と教職員ら計約40人が参加した。古山教育長は、教員時代のエピソードなどを紹介しながら、仕事や子育てで充実した生き方をするために「趣味など好きなことが仕事に結び付いていると大きな強みになる。好きなことをとどんと見つけてほしい」と呼び掛けた。

でも人のためになつてい
る」と強調し、自分の可能
性の限界を自分自身で決め
付けず、出会いを大切に、
心と時間のゆとりを持つこ
とが大切だと指摘。高校生
の時期に伸びるために、素
直でいることや謙虚さ、挑
戦すること、本を読むこと
が重要とアドバイスした。

山形新聞掲載(10月6日)



上山市産業まつり会場でチャリティーバザー開催 (2017. 10. 29)

“S”クラブの生徒にはチャリティーボックスを持って会場を回って頂き「統一行動キャンペーン SOS」プラカードを持って会場において啓発運動を行いました。

